



## イレッサ錠250（ゲフィチニブ）による急性肺障害、 間質性肺炎についての続報

イレッサ錠の上記副作用については、先般10月15日に緊急安全性情報が出され、日薬ニュース号外でもお知らせいたしました。その後、新聞等で報道されているとおり、同医薬品による急性肺障害、間質性肺炎の副作用の報告がなされているところです。

10月28日、同副作用の報告状況について、製造・販売元であるアストラゼネカ社の記者発表によれば、10月23日現在において総計125例の副作用が報告され、うち39例が死亡例（未確定例も含む）とのことです。また、同社によれば、緊急安全性情報が出された後（10月16日以後）に副作用が発現したとするものは12例（うち死亡1例）でした。

今後、患者の安全性確保の観点から、本剤を服用する患者に対しては適切な情報提供を行うとともに、患者に息切れ、呼吸困難、咳および発熱などの自覚症状が見られた場合には、すぐに処方医または薬剤師に連絡するよう患者へ伝えておいてください。また、患者からこのような訴えを受けた場合には、即時に処方医へ連絡してください。

---

## ラジカット注30mg(エダラボン)の緊急安全性情報が出ました

ラジカット注（三菱ウェルファーマ社）は、中枢神経系用剤として、脳梗塞急性期に伴う神経症候などに使われる医薬品で、日本では平成13年6月から販売されています。本剤について、10月28日、厚生労働省にて記者発表が行われました。内容は、急性腎不全の副作用に関する緊急安全性情報についてです。

同剤では、平成14年6月の添付文書改訂において急性腎不全の発現が記載され、注意喚起がされていました。その後、新たに腎機能障害の増悪を含む急性腎不全の報告があり、その数は合計29例（うち、因果関係の否定できない死亡例が10例、因果関係不明の死亡例が2例）になったとのことです。

本剤は急性症状に用いる注射剤であるため、調剤のケースは少ないものの、病院等ではしばしば使用されていると思われます。薬剤師として、必要に応じて情報を入手しておく等、適宜ご対応をお願いします。

ラジカット注の緊急安全性情報の詳細は、以下のホームページ

[http://www.pharmasys.gr.jp/kinkyu\\_anzen/kinkyu20021028.pdf](http://www.pharmasys.gr.jp/kinkyu_anzen/kinkyu20021028.pdf)

または、「日薬情報BOX Fax版」からファクシミリにて入手できます。

メーカー番号：0702 BOX番号：00055